教室名											活動の特徴			学習活動の特徴		
	普天間小学校放課後子ども教室 【宜野湾市】									型	プロ	グラム型	自主学習	学習指導		
関係する学校															I	
	普天間小学校											0	_	_		
1	基本データ															
本本 VVD0 左左の中は (マウ)																

基本データ		\\\D0 \	<u> </u>										-	-	_
<u>—————————————————————————————————————</u>		※R2年度の実績(予定)													
1回あたり スタッフの数	3	人	子どもの 平均参加人数	29	人	年間開催	[日数	32	日		学校協働本語 との連携	部	0)	
実施場所	普天間小	学校(体育	育館2階ミーティング/	レーム、体	育館)	開始年	度	26	年度	100 1 10 11	後児童クラ: との連携	ブ	_	-	_

活動の概要

◎活動日 7月~2月(毎週金曜日)

※例年は5~2月の開催だが、新型コウルス感染症の影響で、 開始が27月遅れた。

◎体育館2階ミーディングルームを活動拠点とし、 教育活動推進員、教育活動サポーター、ボランティア 等の方々と協力しあいながら、子ども達の安心・安全 な居場所づくりを推進しています。 ◎お絵かき教室、生け花教室、ものづくり教室等、体験を通 じて、子どもたちが学びを楽しめる環境づくりに努めています。



生け花教室の様子

事業を実施して

- ・お絵かき教室、生け花教室など体験教室を中心に開催。保護者・児童にも周知度が高まっている。・着衣水泳、アニマルセラピー教室など、学校の授業ではなかなか体験できない教室もあり、児童に好評である。

教室名											特徴	学習活動の特徴			
	大謝名小学	校放誤	≹後子	ども教室 【』	自由活動	型	プログラム型	自主学習 学		学習指導					
	関係する学校														
	大謝名小学校								0		0	0 0		I —	
	基本データ		\'\D0 /	ウェロ(ま / ヱウ)											_
			XKZ年	度の実績(予定))										
	1回あたり スタッフの数	თ	人	子どもの 平均参加人数	37	人	年間開催日数		23	日		地域学校協働本部 との連携			
	実施場所	大謝名	小学校	開始	ì年度	28 年度 放		+	後児童クラ: との連携	ブ _					

活動の概要

◎活動日 9月~2月(毎週木曜日)

※例年は5~2月の開催だが、新型コロナウイルス感染症の影響で、 開始が4ヶ月遅れた。

◎学習支援に力を入れ取り組んでいます。

◎三線教室では、個人でも教室を持っている先生に ご協力をいただき、頑張っています。



ボランティアによる 学習支援教室の準備の様子



学習支援の様子

事業を実施して

- ・学習支援では、学年の枠を超え勉強を教え合うコミュニケーションカも身につくという効果もでている。
- ・三線教室は、昨年度から引き続き参加している児童だけでなく、新たに参加している児童もおり、より多くの児童に関 心を持ってもらえることに期待している。

	教室名	活動の特徴				学習活動の特徴										
嘉数っ子教室 【宜野湾市】											プログラム	型	自主学習		学習指導	
	関係する学校															
	嘉数小学校	0		0		0	_									
	基本データ															
	本本 / /		※R2年度の実績(予定))											
	1回あたり スタッフの数	2	人	子どもの 平均参加人数	10	人	年間開催日数		14	日	地	地域学校協働本部 との連携			_	
	実施場所 嘉数小学校(地域連携室)							開始年度		年月	在 H I		後児童クラブ との連携		_	

活動の概要

◎活動日 11月~2月(毎週水曜日)

※例年は5~2月の開催だが、新型コロウチルス感染症の 影響で、開始が6ヶ月遅れた。

◎学校の地域連携室を活動拠点とし、学習支援の他にも、 工作、体験、科学実験学習など体験学習を行いながら、 保護者や地域の人がスタッフとして見守ります。 ◎工作道具などを「より高度に、かつ安全」に使える ようになる教室を開催し、習得した技術や熟練度に 応じて、手作り免許証を発行することで、児童の自信に つながり、技術習得意欲が高まるよう努めています。





はさみの正しい使い方教室

事業を実施して

・発泡スチロールやハサミなどの身近な材料や道具をつかった科学実験が多いのため、実験の楽しさ、科学への興味をもつ児童が増えている。